

のぼって おいて またのぼる

2025年度
久万美メッセ

アートと福祉のはざままで

2025
4/29(火・祝)
8/31(日)

町立久万美術館

愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2番耕地1442-7

開館時間 ▶ 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 ▶ 月曜日 (ただし、5/5・7/21・8/11は開館)
5/7(水)・5/8(木)・7/22(火)・8/12(火)

※5/18(日)は美術館ライブ開催のため、ライブご参加者のみご入館いただけます。それ以外のお客様は、12時以降のご入館をお断りさせていただきます。

観覧料 ▶ 一般 500(400)円、高大生 400(320)円、小中生 300(240)円

※()内は20名以上の団体料金。※高齢者(65歳以上)の方は半額。

※障害者手帳(身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳)をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。

関連事業

5/18(日) ASA-CHANG&巡礼LIVE 6/21(土) 中ムラサトコLIVE&WORKSHOP

8/09(土) 牛島光太郎 WORKSHOP 8/31(日) クロージングギャラリートーク

今治市の郊外の小高い住宅街に佇む「さんかくやま」。

やまといっても、自然の山ではありません。ここは、生活介護事業所。「登山者」と呼ばれる利用者が坂を上って通ってきます。

3人のスタッフが登山者に寄り添い、日々を営んでいます。ここでは「利用者の方の特性を社会のモノサシとは違った角度から見ることでその人の表現として捉え、その人のままで暮らしていけるようサポートする」をコンセプトに活動しています。しかし、双方の関係性は決してケアをする／されるという固定されたものではありません。「さんかくやま」では、互いの些細なやりとりが「表現」であり、時間とともに空間に積み重なっていきます。「表現」は登山者だけのものではなく、スタッフにも、時折やってくる来訪者にも開かれています。

この展覧会では、「さんかくやま」の登山者が制作した絵画や立体などの創作物に加え、中ムラサトコによる日々の営みを追ったドキュメンタリー映像やインタビュー映像を通じ、その創作物が生まれる背景に迫り、アートと福祉の間にある「さんかくやま」の今をご紹介します。



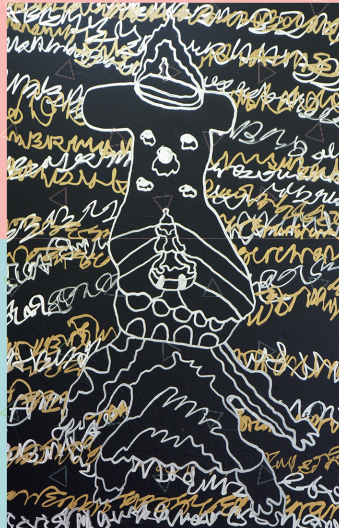
『無 題』
マスキングテープ・キャンバス/2025



『無 題』
マーカー、ペン・キャンバス/2025



『無 題』
ペン・雑誌/2025



『無 題』
マーカー・キャンバス/2025



『ひも盆栽』
漂着物/2024



『ちっそくシリーズ』
人形、セロハンテープ/2025



『無 題』
アクリル・キャンバス/2025

LIVE

5/
18

SUN
14:00
START

ASA-CHANG&巡礼

町立久万美術館展示室 定員▶80名程度

料金▶前売4,000円／当日4,500円（ドリンク別・美術館入館料（500円）含む）

申し込み先▶今治ホホホ座（メールアドレス i.hohoho.za@gmail.com）

件名に[ASA-CHANG&巡礼ライブ予約]、本文に[久万美術館会場]・お名前・お電話番号・人数を明記のうえ、上記メールアドレス宛にお申し込みください。

※ライブ公演中は、ご参加者のみご入館いただけます。それ以外のお客様は、12時以降のご入館をお断りさせていただきます。

ASA-CHANG&巡礼

1997年、ASA-CHANGソロユニットとして始動。そのトライバルかつアブストラクトな独自の波動に満ちた音楽が国内外で評価されると共に、世界各国のメディアにも取り上げられる。また、ミュージックビデオにおけるコンテンポラリーダンサーとの共演が世界的な話題となり、2009年に音楽×ダンス公演『JUNRAY DANCE CHANG』を世田谷パブリックシアターにて開催。2012年に後関好宏、須原杏をメンバーに迎え、国際的な舞台芸術祭「KYOTO EXPERIMENT 2012」への参加、アニメ『悪の華』のEDテーマ曲の提供など、既存の音楽の枠に捕らわれない活動を展開している。

2014年9月からはライブシリーズ「アウフヘーベン!」を始動、世界的な舞踏家・室伏鴻や映像作家・勅使河原一雅、漫画家・押見修造、クリエイター・いとうせいこうといったジャンルを横断した作家とのコラボレーションを行い、さらにその活動を進化・深化させている。

2018年以降は海外でのライブ活動も積極的に実施、ベルリン、ハンブルグ、ケルン、ミュンヘン、モスクワ、リトアニア、ニューヨーク、フィラデルフィア、ユトレヒトなど数多くの都市にてライブパフォーマンスを披露している。 <http://junray.com/>



LIVE

WORK
SHOP

6/
21
sat

「中ムラサトコ LIVE&WORKSHOP」

講 師▶中ムラサトコ（ボイスパフォーマー）

場 所▶町立久万美術館

時 間▶13:30～15:00

参加費▶無料（要観覧券）

定 員▶20名 ※要申し込み（久万美術館）

※小学校低学年以下のお子様は保護者同伴をお願いいたします。



中ムラサトコ ///ボイスパフォーマー／映像作家///

変幻自在なボイスパフォーマンスと、哀愁漂う足踏みヲルガン弾き語り、はたまたエネルギー炸裂の太鼓叩き語りの歌い手として活動。乳幼児の為のお芝居「ぐるぐる」を20年間上演（2014年厚生省児童福祉文化財作品）。アートワークショップ「オトのサンボ」講師。近年はドキュメンタリー映画制作に取り組み、『ふたたびまたたび』

『Jaaja』『アマカラな子どもたち』等、音楽活動を通じて知り合った表現者たちや子どもたちを題材とした作品を作り続けている。2023年4月～7月、西脇市岡之山美術館にて、映像作品の展覧会「ご近所ラビリンズ」が開催された。「誠実で、でたらめで、楽しげ」が人生のテーマ。

WORK
SHOP

8/
09
sat

「ふつうの日ののこし方」

講 師▶牛島光太郎（美術家）

場 所▶町立久万美術館

時 間▶13:30～15:00

参加費▶無料（要観覧券）

対 象▶小学5年生以上

定 員▶16名 ※要申し込み（久万美術館）

持参物▶のりとはさみ



牛島光太郎 ///美術家///

言葉を用いた作品を制作。

日本での活動に加えて、ドイツ、台湾、中国、ニューカレドニアなどで作品を発表。関西国際空港や百貨店の吹き抜け空間やショーウィンドウなど公共空間への大規模な作品設置の他、里山や市街地でのアートプロジェクトを実施。個展、グループ展、多数。2020年4月に著

書『一枚物語 ちぐはぐな日々のはなし』（アリエスブック）を出版。2020年8月に渋谷区宮下公園内ホテル「sequence MIYASHITA PARK」の客室（全224室）に作品を設置。小学校や美術館などで幼児や児童を対象にしたワークショップを多数開催。2023年から「子どもの庭」プロジェクトを開始。

TALK

8/
31
sun

クロージングギャラリートーク 「ハプニングだらけの日常を 愉快地に過ごすには。」

話し手▶豊島吾一（生活介護事業所さんかくやま）
青砥穂高（生活介護事業所さんかくやま）
サ々キDUB平（生活介護事業所さんかくやま）

場 所▶町立久万美術館

時 間▶14:00～15:00

参加費▶無料（要観覧券）

定 員▶80名（予約不要）

TALK

学芸員
TALK

6/08 sun
7/19 sat
8/16 sat
14:30
15:00
参加費：無料
要観覧券



SPECIAL

8/
16
sat

お盆特別 無料開放DAY

09:30 当日はどなたでも無料で
17:00 ご鑑賞いただけます。

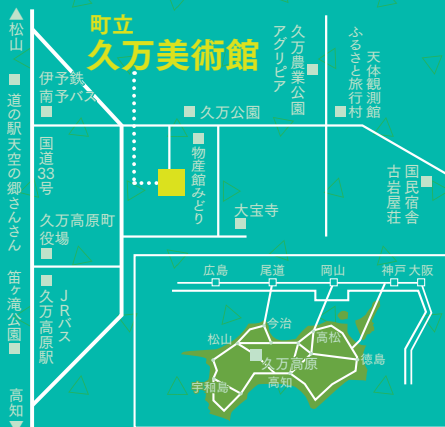
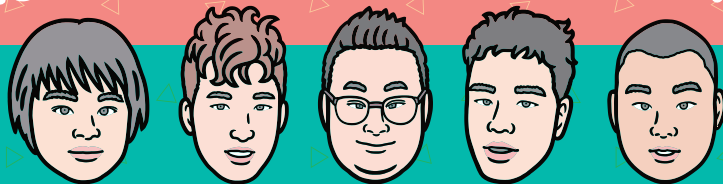


STAFF あおと
「一緒に時間を過ごすだけでもケアなので！」

STAFF DUB平
「作ってもいいし、作らなくてもいいし！」

STAFF ゆうゆ
「見守ることも大事なんやな！」

Let's climb Mt.SANKAKU!!!



ACCESS

〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生 2 番耕地 1442-7

バス JRバス

松山から70分(ほぼ2時間毎、土・日・祝運休あり)

予讃線松山駅から久万高原行「久万中学校前」下車徒歩約10分

車

松山市内から国道33号線で約50分、高知市内から約2時間

松山自動車道松山ICから国道33号線を高知方面へ約30分、

久万中学校前交差点を左折、県道12号線(西条久万線)を0.8km東進、右側
駐車場45台(無料)

企画・展示協力 戸館正史 / 牛島光太郎

映像制作 中ムラサトコ

フライヤーデザイン サツキDUB平

SPECIAL THANKS

TOMTOM (漂着 DECO) / TOKUSAN (ちっぞくシリーズ素材提供) / BON YOSHIMI (ひも盆栽) / otokonokoto (似顔絵制作)
ナガシママイ (絵画共作) / 今治高等学校 / 今治ホホホ座 / 古民家ブックカフェ 森 / 放課後等デイサービス アマカラ研究室
その他たくさんの登山者のみなさま。

【主 催】

町立久万美術館、久万高原町

【後 援】

愛媛新聞社、愛媛 CATV、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、FM 愛媛、高知新聞社、RKC 高知放送
愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、久万高原町教育委員会

【連絡先】町立久万美術館

〒791-1205 愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生 2 番耕地 1442-7

電話：0892-21-2881 / FAX：0892-21-1954

<https://www.kumakogen.jp/site/muse/>